自分の「好き」を動画で表現したい

木下（きのした）　徹哉（てつや）さん

Profile／1995年生まれ。名古屋市出身。ぬま大学第6期生。現在は動画制作チーム「イマジンスタジオ」（株式会社今）に所属し、地域企業のPR動画を中心に制作している。気仙沼への移住者を取り上げる「気仙沼にスムワケ」（YouTube配信、気仙沼ケーブルネットワークで放送）の制作も行った。

▲動画を公開しています。ぜひご覧ください！

―移住のきっかけは

大学生の頃に大学の復興ボランティアで初めて気仙沼を訪れ、大島で活動しました。また、気仙沼のNPO法人が主催するプログラムにも参加しました。

その後、地元の名古屋で就職活動をしていましたが、気仙沼にいる面白そうな人達と一緒に生活や仕事をするほうが楽しそうだと思うようになり、移住することにしました。

―ぬま大学に参加したきっかけは

シェアハウスで一緒に暮らしていた、ぬま大学第5期生の友人に勧められたのと、移住して数年が経ち良いタイミングだと思い、参加することにしました。また、興味のあった動画で何かしてみたいという想いもありました。

―ぬま大学のプランの内容と取り組んできたことは

ぬま大学では、「自分を大切にするための表現」というプランを考えました。自分の中にあるものを大切にしたいという想いがあり、気仙沼にある自分が好きな場所で動画を撮影・編集し、自分の「好き」を動画で表現しました。そして、改めて動画が好きだということを実感しました。

初めはYouTube用に団体の活動紹介、知人家族の動画を制作していましたが、ぬま大学終了後は、地域企業のインタビューやテレビCMなど、本格的に動画を制作するようになりました。

―現在は

地域企業のインタビューや地域で働く若者に着目したリクルート動画、クラウドファンディングの紹介などPR動画を中心に制作しています。また、最近はアニメーションを使ったCMも制作しています。

動画制作を通して出会った気仙沼の企業や人から、「みんなで協力しあって気仙沼の漁業のこと、まちの良さを伝えていく」というかっこいい想いを感じ、気仙沼のことがより好きになりました。そして、私が感じたかっこよさを、気仙沼市内外に知ってもらう橋渡し役になれたらという想いで、制作に取り組んでいます。

自分の好きなことを表現できるのが動画制作の良さだと感じています。未経験からの動画制作でしたが、制作した動画に驚きの反応もあり、うれしかったです。制作が上手くいかず、失敗をすることもありますが、今は日々学びながら、様々な動画制作に挑戦しています。

―これからは

私は家族が大好きで、これからはそういった自分の好きなことをもっと動画にしていきたいです。

例えば、赤ちゃんの出産前、出産後のご家族の様子を動画に残していきたいと考えています。その時の家族の様子や想いをインタビューという形で言葉にし動画にすることで、子どもが大きくなった時に見ることができるようにしたいと思っています。動画を見た際に、両親が当時のことを想い返され、子どもが両親から自分への想いを感じることができるような家族のインタビュー動画を制作したいと思っています。

［市長コラム］

ゴーヘイ！ ― Go Ahead ! Kesennuma ― 気仙沼

第124回　追悼　安倍元首相

先月 8 日、安倍晋三（あべしんぞう）元首相が凶弾に倒れ、志半ばで逝去されました。あらためて心より哀悼の誠を捧げます。

元首相は 2 回目の登板となった 2012 年 12 月、長年の課題であった「デフレ脱却」、政治家としての悲願である「憲法改正」を置いて、最優先の課題として「東日本大震災からの復興」を掲げてくださいました。その後、本市への視察は 4 回を重ね、水産施設、新造船所、新規企業、子育て支援施設、震災遺構・伝承館などを訪問、被災者へお声がけをいただき、頑張る人を励ましてくれました。特に伝承館では中学生の語り部さんと親しく懇談するなど心を寄せていただきました。また、一度昼食をご一緒しましたが、とても食べるのが早く、普段の忙しさ、仕事ぶりがしのばれました。

通算 8 年 8 カ月という史上最長の首相在任期間においては、常に複雑な世界情勢の中で我が国の安全保障を確保するにはどうすればよいかを考え続け、果敢（かかん）に必要な行動をとってこられたと思います。ロシアのウクライナ侵攻によって、その正当性が、私たちにとっても明らかになりました。首相の取るべき思考を迷いなく取ってきたものと思います。

さて、元首相への銃撃について、ほとんどの報道や政治に関わる方々が犯行は民主主義に対する暴挙と言った文脈で非難してきました。私も当日発表したコメントの中でそのように表現しました。大きな意味では言論でなく暴力によって問題を解決しようとした点において、民主主義と相いれない卑劣な行為であることはその通りだと思います。

一方で、次第に犯行の背景や動機が明らかになるにつれ、凶行は絶対に許されないものとしつつも、社会の歪みや心の闇など、我々の身近に潜む現代社会が抱える複雑な問題にぶち当たります。私たち政治に携わる者は民主主義云々と言って単純に非難するだけでなく、社会に存在する数々の問題を地道に解決していく姿勢が大切です。蛮行に及ぶ者をゼロにはできないかもしれませんが、誰にとっても社会との関わりが維持され、他人をむやみに恨むことのない社会をつくる努力をしていくことが必要であり、それがこの度の教訓なのではないでしょうか。

プロフェッショナルとは「ゴールが無いと知りながら挑戦し続ける人」と表現した人がいました。地道に努力を続ける一員でありたいと思います。

気仙沼市長　菅原 茂

坪内正一（つぼうちしょういち）さんが行政相談委員表彰（内閣総理大臣感謝状）受賞

行政相談委員制度の発展、委員の資質向上等に多大な貢献をしている委員に対し、内閣総理大臣感謝状が贈呈され、本市から行政相談委員の坪内正一さん（唐桑町明戸・78 歳）が受賞されました。

功　績

毎月 1 回、唐桑総合支所において、定例相談所を開設しているほか、行政相談週間中の巡回相談所の開設や冬期間の唐桑地域市民文化祭での広報活動などを通じて、積極的に行政相談委員制度の周知と地域住民の苦情の解決のために尽力されました。

また、平成 19 年度から 28 年度まで宮城行政相談委員協議会理事として委員団体の活動にも積極的に参画するなど、登米・気仙沼・南三陸地区のリーダー的な存在です。

受賞者コメント

大変光栄で感謝しています。支えてくれた家族や地域の方々、国、市のおかげと思っております。

本市には総務大臣感謝状

多年にわたり行政相談委員制度を支援した自治体として、本市が総務大臣感謝状の贈呈を受けました。

問秘書広報課 ☎ 22-6600 内線 211

留守（るす） 洋平（ようへい） 副市長が退任

これからも気仙沼の発展を後押ししたい

平成30年7月から4年にわたり、副市長として、市の復旧・復興事業を進め、支えた、留守洋平氏（42歳）が6月30日付けで退任しました。

留守副市長は、在任中、主に建設部、産業部などを担当し、諸課題の解決や復興・地方創生に向け尽力いただきました。

6月27日の市議会定例会では「復興の総仕上げの時期を担当させていただいた。困難に直面することもあったがひとつずつ乗り越え事業の完遂を目指し日々努力してきた。三陸沿岸道路の開通など大きなハード事業が完成し、市民の皆さまと喜びを分かち合えたことはこの上ない幸せ。今後も気仙沼市が目指す地方創生のために、国とのパイプ役となって後押ししていきたい」と退任のあいさつを述べました。

副市長退任後は、国土交通省に復帰され、関東地方整備局甲府河川国道事務所長に着任します。

空き店舗活用促進事業補助金

東日本大震災後の復旧・復興事業で整備または再建をした商業施設内に生じている空き区画の活用を図るため、その施設に新たに店舗（飲食業、小売業）を開設する事業者に対して開設などに要する費用の一部を補助します。

■**対象者**／市内に本社・本店を有する中小企業者または市内に住所を有する個人事業主で、東日本大震災後の復旧・復興事業で整備または再建した商業施設内の空き区画を活用して、4月以降に店舗（飲食業、小売業）を開設した事業者。

■**補助金額**／新たに開設した店舗に要する家賃月額の6倍に相当する額
※上限 120 万円

■**対象となる経費**／店舗開設等に必要な費用

■**留意事項**／国の事業再構築補助金、県の宮城県中小企業等事業再構築支援補助金の交付を受けた事業者、または市のチャレンジオーナー支援事業費補助金の活用事業者は対象外となります。

■**申請期間**／**来年3月31日（金）**まで

■**申請方法**／市公式サイトに掲載されている申請様式により、原則郵送で申請してください。

■**申し込み・問い合わせ先**／
産業戦略課 商工労働係 ☎ 22-3436

令和5年度採用 気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 職員募集のお知らせ

■**職種・採用予定人数**／**行政職（上級）** 若干名

■**受験資格**／平成4年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方。

※詳しくはお問い合わせください。

■**申込方法**／申込用紙に必要事項を記入し、持参か郵送してください。※持参の場合は、平日の午前8時30分から午後5時15分まで。郵送の場合は、締切日の午後5時15分必着。

【申込用紙設置場所】
組合事務局、市人事課、南三陸町役場総務課、各消防署

組合ホームページ

※ホームページ（http://km-kouiki.jp/）からもダウンロードできます。

■**申込受付期間**／**8月1日（月）～9月14日（水）**

■**試験日（第一次）・会場**／10月16日（日）午前9時・気仙沼・本吉広域防災センター

※第二次試験は第一次試験合格者に対して通知します。

■**試験科目**／教養試験、性格特性検査（2科目）

■**申し込み・問い合わせ先**／
気仙沼・本吉地域広域行政事務組合事務局
☎ 22-9111